

NY マーケットレポート (2014 年 7 月 30 日)

NY 市場では、序盤に発表された 2Q 米 GDP が、市場予想を大きく上回る結果となったことを好感してドル買い・円売りが優勢となり、クロス円も堅調な動きとなった。また、この結果を受けて、FOMC でタカ派的な声明を期待する向きもあり、その後も堅調な展開が続いた。そして、FOMC では、予想通り債券購入額を 6 会合連続で縮小したことや、インフレ率が目標水準に近づいているとの声明を好感して、ドル/円は 4 月 8 日以来の高値を付ける動きとなった。また、クロス円も一段の上昇となった。しかし、労働市場のスラックは残っていると指摘したことや、相当期間ゼロ金利を続けることが適当との方針を据え置いたことが嫌気されて、ドル円・クロス円は引けにかけて上値の重い展開が続いた。

2014/ 7/30 (水)

TOKYO	東京終値	東京高値	東京安値
USD/JPY	102.17	102.17	102.04
EUR/JPY	136.88	136.99	136.83
GBP/JPY	173.02	173.15	172.92
AUD/JPY	95.81	95.85	95.71
EUR/USD	1.3399	1.3416	1.3394

LONDON	LD高値	LD安値
USD/JPY	102.28	102.17
EUR/JPY	137.07	136.86
GBP/JPY	173.26	172.99
AUD/JPY	95.81	95.73
EUR/USD	1.3404	1.3396

*LD高安は東京クローズ～NYオープンまでの高安

アジア主要株価	終値	前日比
日経平均	15646.23	+28.16
ハンセン指数	24732.21	+91.68
上海総合	2181.24	-1.95
韓国総合指数	2082.61	+20.64
豪ASX200	5622.89	+34.45
インドSENSEX指数	26087.42	+96.19
シンガポールST指数	3353.65	-2.43

欧州主要株価	終値	前日比
英FT100	6773.44	-34.31
仏CAC40	4312.30	-53.28
独DAX	9593.68	-59.95
スウェーデンOMX30	340.44	-1.83
西IBEX35指数	10937.40	+36.20
伊FTSE MIB指数	20887.53	-197.59
南ア 全株指数	51770.59	-471.53

NEW YORK	NY終値	NY高値	NY安値
USD/JPY	102.83	103.09	102.22
EUR/JPY	137.73	137.85	136.99
GBP/JPY	173.96	174.23	173.03
AUD/JPY	95.93	96.12	95.72
NZD/JPY	87.29	87.48	86.94
EUR/USD	1.3395	1.3407	1.3367
AUD/USD	0.9329	0.9372	0.9305

米主要株価	終値	前日比
米ダウ平均	16880.36	-31.75
S&P500	1970.07	+0.12
NASDAQ	4462.90	+20.20
その他主要株	終値	前日比
カナダトロント総合	15524.82	+78.27
ブラジルボブサ指数	44311.06	-170.23
ロシアモスクワ指数	56877.97	-240.84

7/31 経済指標スケジュール

08:05 【英】7月GfK消費者信頼感調査
 10:30 【豪】6月住宅建設許可件数
 10:30 【豪】2Q輸入物価指数
 11:00 【シンガポール】2Q失業率
 14:00 【日】6月建設工事受注・6月住宅着工戸数
 15:00 【英】7月ネーションワイド住宅価格
 15:00 【独】6月小売売上高指数
 15:45 【仏】6月消費者支出
 15:45 【仏】6月生産者物価指数
 16:55 【独】7月失業率・7月失業者数
 17:30 【香港】6月小売売上高
 18:00 【欧】7月消費者物価指数
 18:00 【欧】6月失業率
 18:30 【南ア】6月生産者物価指数
 20:30 【米】7月チャレンジャー人員削減数
 21:30 【米】新規失業保険申請件数
 21:30 【米】失業保険継続受給者数
 21:30 【米】2Q雇用コスト指数
 21:30 【カナダ】5月GDP
 22:00 【米】7月ミルウォーキー購買部協会景気指数
 22:45 【米】7月シカゴ購買部協会景気指数

コモディティ	終値	前日比
NY GOLD	1296.90	-3.60
NY 原油	100.27	-0.70
CME コーン	371.50	+0.50
CBOT 大豆	1081.25	-13.75

米国債利回り	本日	前日
2年債	0.56%	0.54%
3年債	1.02%	0.98%
5年債	1.77%	1.69%
7年債	2.22%	2.13%
10年債	2.56%	2.46%
30年債	3.31%	3.23%

7/31 主要会議・講演・その他予定

(出所: SBILM)

NY 市場レポート

21:00

ドル/円 102.24 ユーロ/円 137.01 ユーロ/ドル 1.3401

21:00

欧州株式市場・米株価指数先物

欧州主要株価	株価	前日比	米株価先物	株価	前日比
英 FT100	6802.99	-4.76	ダウ INDEX FUTURE	16889	+44
仏 CAC40	4362.38	-3.20	S&P500 FUTURE	1969.00	+6.00
独 DAX	9666.58	+12.95	NASDAQ FUTURE	3968.75	+16.50

(出所: SBILM)

21:00

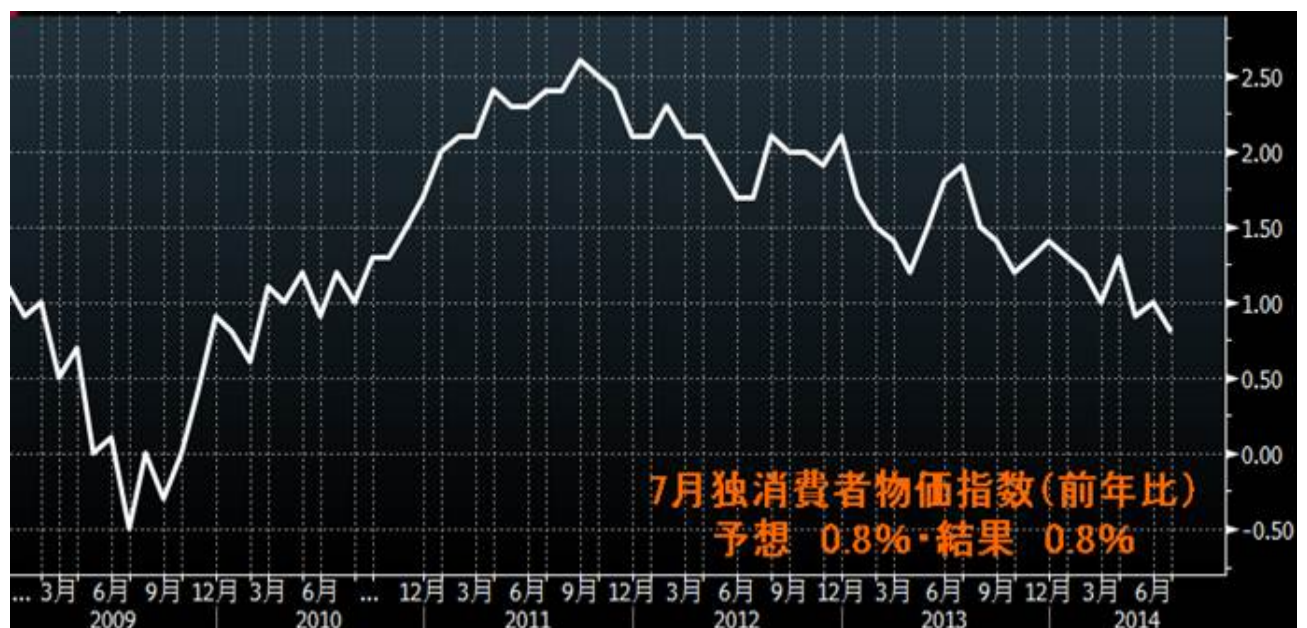
◀ 経済指標の結果 ▶

7月独消費者物価指数（前月比） 0.3%（予想 0.2%・前回 0.3%）

7月独消費者物価指数（前年比） 0.8%（予想 0.8%・前回 1.0%）

7月独 EU 基準消費者物価指数（前月比） 0.3%（予想 0.2%・前回 0.4%）

7月独 EU 基準消費者物価指数（前年比） 0.8%（予想 0.8%・前回 1.0%）



(出所:ブルームバーグ)

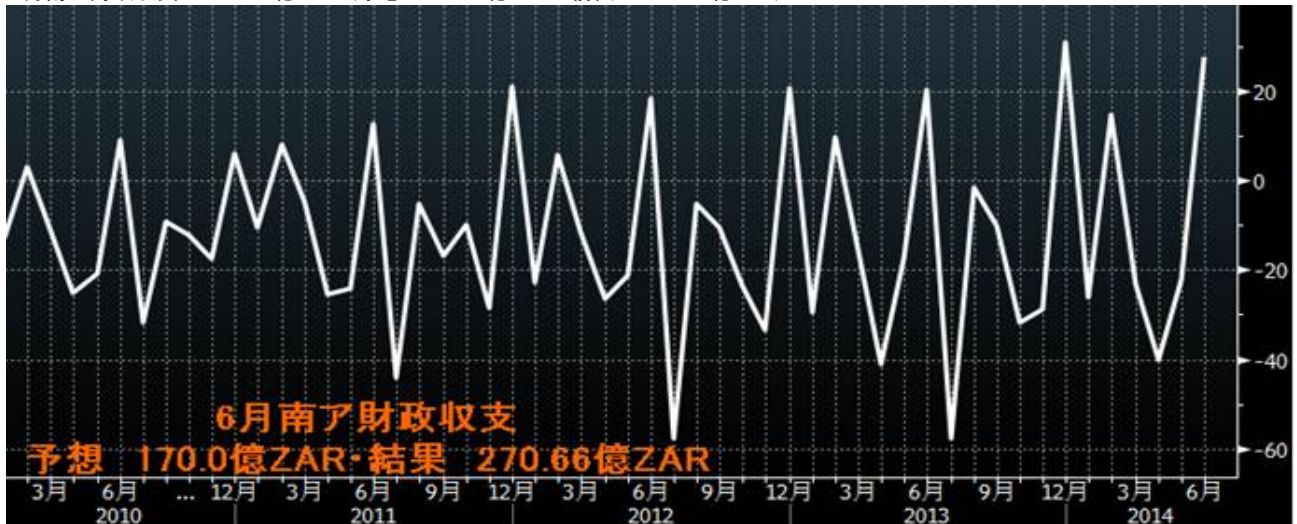


(出所:ブルームバーグ)

21:00

＜ 経済指標の結果 ＞

6月南ア財政収支 270.66億ZAR (予想 170.0億ZAR・前回 -223.7億ZAR)



(出所:ブルームバーグ)

21:15

＜ 経済指標の結果 ＞

7月米ADP雇用統計 21.8万人 (予想 23.0万人・前回 28.1万人)



(出所:ブルームバーグ)

指標結果データ
 <<ADP 雇用統計>>

7月・・6月・・5月・・4月・・3月・・2月・・1月
 ADP 雇用者数（前月比）・・・21.8・・28.1・・17.5・・21.5・・19.8・・19.3・・12.1
 （万人）



（出所：ネットダニアー）

21 : 30
 << 経済指標の結果 >>

2Q 米 GDP（前期比年率） 4.0%（予想 3.0%・前回 -2.9%）
 前回発表の-2.9%から-2.1%に修正

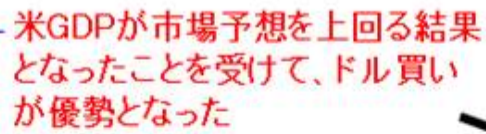
2Q 米個人消費（前期比） 2.5%（予想 1.9%・前回 1.2%）
 前回発表の1.0%から1.2%に修正



（出所：ブルームバーグ）



(出所:ブルームバーグ)



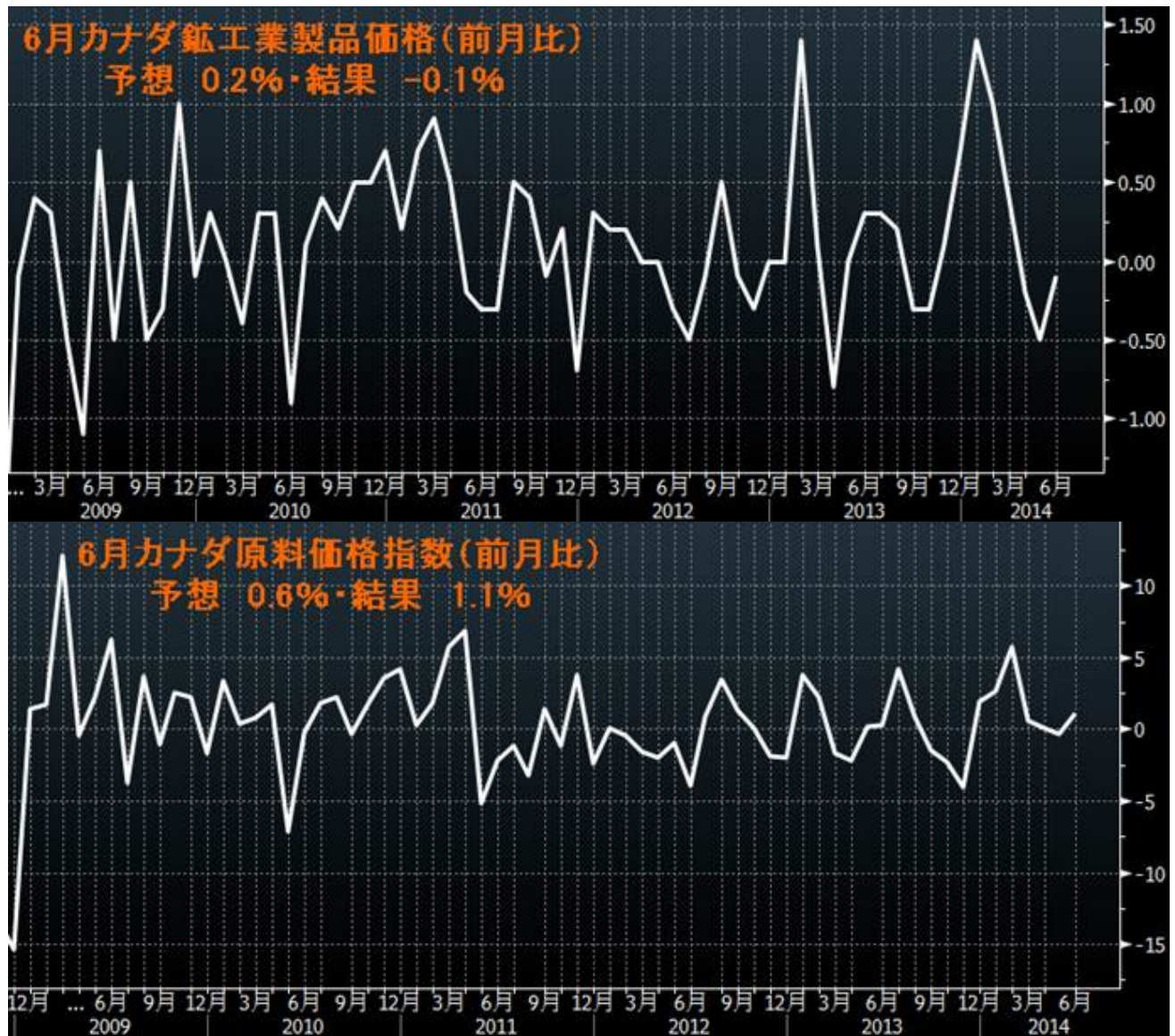
(出所: ネットダニアー)

21 : 30

◀ 経済指標の結果 ▶

6 月カナダ鉱工業製品価格（前月比） -0.1%（予想 0.2%・前回 -0.5%）

6 月カナダ原料価格指数（前月比） 1.1%（予想 0.6%・前回 -0.4%）



指標結果データ

◀ 米 GDP ▶

	2Q 速報	1Q 確定	4Q	3Q	2Q	1Q
GDP	4.0	-2.1	3.5	4.5	1.8	2.7
個人消費	2.5	1.2	3.7	2.0	1.8	3.6
耐久消費財	14.0	3.2	5.7	4.9	4.5	8.5
非耐久消費財	2.5	0.0	2.7	2.8	-0.2	1.8
サービス	0.7	1.3	3.7	1.3	2.0	2.4
政府支出	1.6	-0.8	-3.8	0.2	0.2	-3.9
最終需要	2.3	-1.0	3.9	3.0	1.5	2.0
国内最終需要	2.8	-1.0	2.7	2.3	1.9	2.0

《 NY 外国為替市場 序盤 》

序盤の外国為替市場は、4-6 月期の米 GDP 速報値が市場予想を上回る高い伸びを示したことを受けて、米経済の先行きに対する期待からドル買い・円売りが優勢となった。ドル/円は 6 月 5 日以来の高値を付ける動きとなった。

22 : 33

米主要株価

米主要株	株価	前日比
ダウ平均	16982.43	+70.32
ナスダック	4472.61	+29.91

(出所:SBILM)

23 : 30

《 NY 株式市場 序盤 》

序盤の株式市場は、4-6 月期の米 GDP 速報値が市場予想を上回ったことから、米経済への楽観的な見方が広がり、主要株価は序盤から堅調な動きとなった。しかし、その後は利益確定の売りなどに押されて下げ幅を縮小する動きとなっている。

23 : 30

《 EIA 米週間在庫統計 》

原油在庫・・・370 万バレル減少
ガソリン在庫・・・36.5 万バレル増加
留出油在庫・・・78.9 万バレル増加

《 経済指標のポイント 》

(1) MBA (全米抵当貸付銀行協会) の住宅ローン申請指数は、前週比-2.2%となり、7 週間で 5 回目の低下となった。構成指数では、借り換え指数が-4.0%とこの 1 ヶ月余りで最大の下げとなった。また、購入指数は+0.2%となった。申請全体に占める借り換えの割合は 53.2% (前週 54.4%) となった。30 年固定金利型の住宅ローン金利は 4.33% (4.33%) と、3 週連続で横ばいとなり、15 年固定金利型も前週から横ばいの 3.47%となった。

(2) 7 月の米 ADP 雇用者数は、前月比+21.8 万人となり、市場予想の 23.0 万人を下回る結果となった。増加幅は年初来の平均を上回ったものの、前月の 28.8 万人からは伸び幅が低下した。建設業は+1.2 万人、製造業は+0.3 万人、サービス業は 20.2 万人となった。従業員が 500 人以上の大企業の雇用者数は+4.1 万人、50、499 人の中堅企業では+9.2 万人、49 人以下の小企業では+8.4 万人となった。

(3) 米 4-6 月期の GDP 速報値は、年率換算で前期比+4.0%となり、1-3 月期の-2.1% (修正前-2.9%) から一転して上昇に転じた。寒波の影響による景気減速は、一時的なものだったことがあらためて示される結果となった。堅調な個人消費や住宅投資、企業の設備投資に加え、在庫投資の持ち直し、輸出の増加など全般に改善が目立った。

①GDP の約 7 割を占める個人消費が+2.5%、自動車・同部品など耐久財が大きく伸び、2009 年 7-9 月期以来の大きな増加率となった。設備投資は+5.5%、住宅投資も+7.5%と 3 四半期ぶりにプラスに転じた。また、在庫投資も前回のマイナスからプラスに転じた。

②輸出は+9.5%、輸入も+11.7%と 2010 年 7-9 月期以来の大きな伸びとなったが、輸出から輸入を差し引いた純輸出の GDP への寄与度はマイナスだった。

③政府部は+1.6%と 3 四半期ぶりにプラスとなり、2012 年 7-9 月期以来の大きな伸び率となった。連邦政府支出が 7 四半期連続のマイナスとなる一方、州政府や地方自治体のプラスが政府支出を支えた。

④個人消費支出物価指数は、前年同期比で+1.6%となり、物価安定の目安である 2%を引き続き下回ったが、2012 年 10-12 月期以来の大きな上昇率となった。

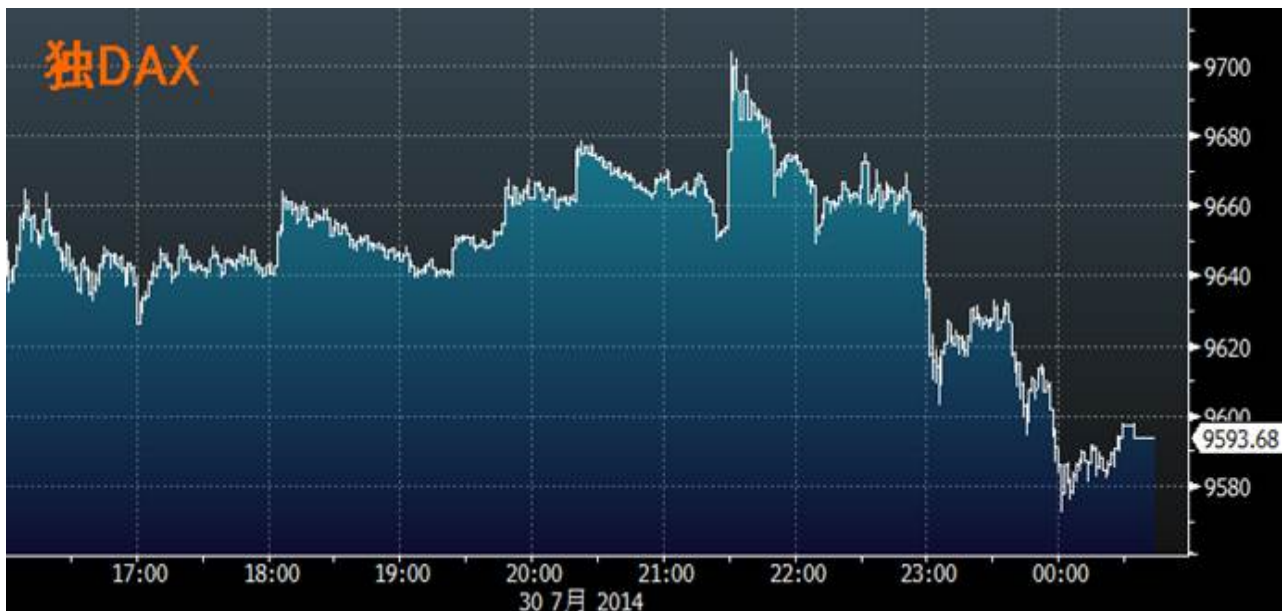
(4) 全米産業審議会が発表した 7 月の新規のオンライン求人広告数は 258 万 4000 件で、前月の 268 万 4900 件から減少した。前年同月の 235 万 3800 件からは+9.8%となった。2014 年 7 月 258 万 4000 件、6 月 268 万 4900 件、5 月 250 万 9700 件、4 月 253 万 5300 件

欧州主要株価	終値	前日比
英 FT100	6773.44	-34.31
仏 CAC40	4312.30	-53.28
独 DAX	9593.68	-59.95
ストック欧州 600 指数	340.44	-1.83
ユーロファースト 300 指数	1366.52	-6.88
スペイン IBEX35 指数	10937.40	+36.20
イタリア FTSE MIB 指数	20887.53	-197.59
南ア アフリカ全株指数	51770.59	-471.53

(出所:SBILM)

《欧州株式市場》

欧州株式市場は、EU と米国が協調して本格的な対ロシア制裁に踏み込むことになったことが嫌気され、主要株価は軟調な動きとなった。また、欧州企業の業績への先行き警戒感も圧迫材料となった。



(出所:ブルームバーグ)

1 : 00

米主要株価・中盤

ダウ 16826.99 (-85.12) 、S&P500 1965.49 (-4.46) ナスダック 4447.73 (+5.03)

《ポイント》

今回のFOMCでは、米債などの購入規模を250億ドル（現行350億ドル）に縮小するとの予想がコンセンサスとなっている。前回のFOMC議事録（9日公開）では、「QEは10月に150億ドル縮小で終了」と初めて時期が明確化され、QE3の残は350億ドルなので、今回100億、9月100億、10月150億ドルが単純なスケジュールと考えられる。

先日、議会証言でイエレン議長は、「労働市場が予想より速いペースで回復が続けば、想定よりも早く利上げをする可能性がある」と発言しているが、QE終了後の“相当期間（6ヵ月）”の前倒しか、QE3の縮小ペースの前倒しか注目される。

仮に、今回150億縮小となるようなら（9月200億縮小、端数は10月にとは考え難い）、後者の前倒しに該当する可能性が考えられ、今回の雇用統計が“速いペースの回復”を示す結果であることが予想される。

≪ NY 債券市場 ・ 午前 ≫

序盤のニューヨーク債券市場は、4-6 月期の米 GDP 速報値が市場の予想を大幅に上回る伸びとなったことから、米 FRB による利上げ時期前倒しへの警戒感が強まり、売りが先行した。特に、政策金利の動向に敏感な 2 年債利回りは一時 0.58% と、2011 年 5 月以来約 3 年 2 カ月ぶりの高水準となった。

午前の利回りは、30 年債が 3.26% (前日 3.23%)、10 年債が 2.52% (2.46%)、7 年債が 2.20% (2.13%)、5 年債が 1.77% (1.69%)、3 年債が 1.04% (0.98%)、2 年債が 0.57% (0.54%)。

2 : 00

≪ 米財務省 7 年債入札 ≫

最高落札利回り・・・2.250% (前回 2.152%)

最低落札利回り・・・2.130% (前回 2.059%)

最高利回り落札比率・・・1.49% (前回 2.059%)

応札倍率・・・2.58 倍 (前回 2.44 倍)

3 : 00

≪ 経済指標の結果 ≫

FOMC FF 金利誘導目標 0.25% (予想 0.25%・前回 0.25%)

米量的緩和第 3 弾 250 億ドル (予想 250 億ドル・前回 350 億ドル)

米連銀・国債購入 150 億ドル (予想 150 億ドル・前回 200 億ドル)

米連銀・MBS 買入れ 100 億ドル (予想 100 億ドル・前回 150 億ドル)



(出所:ブルームバーグ)

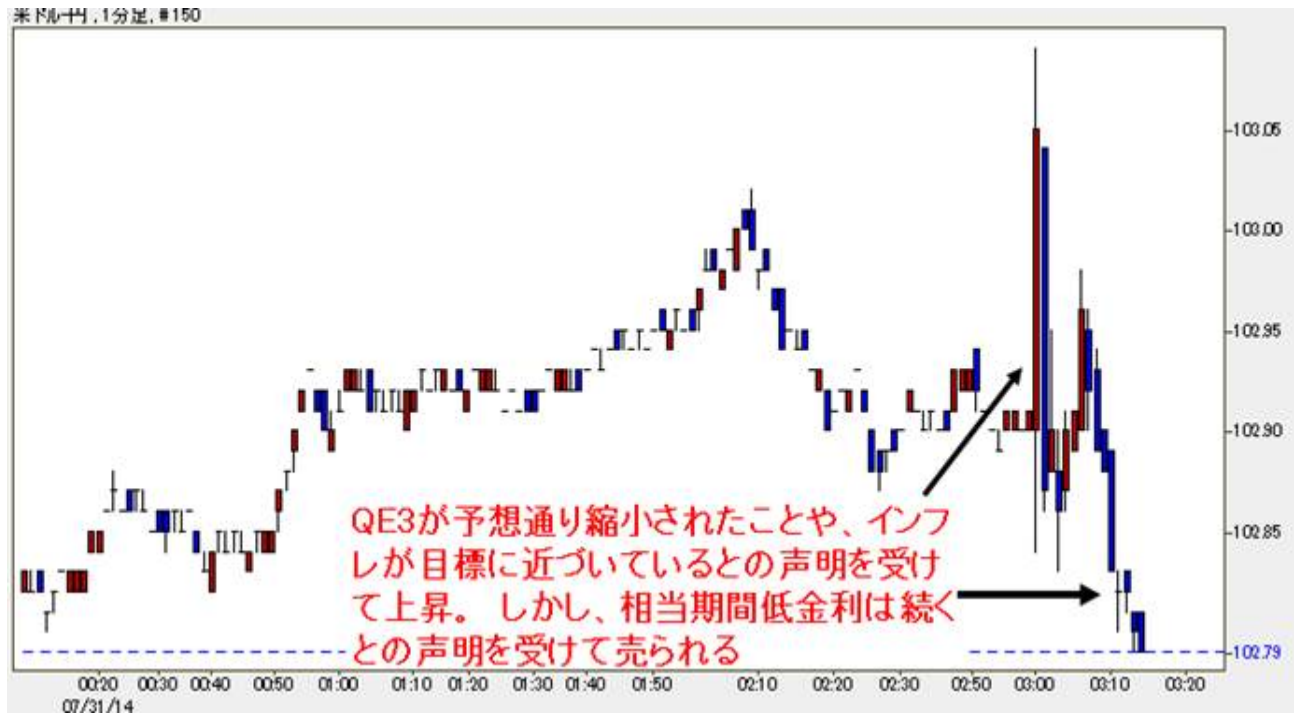
3 : 00

≪ FOMC ≫

- ・「2%未満のインフレ続く確率は幾分か低下した」
- ・「労働市場は、著しいリソース活用不足が見られる」
- ・「金利見通しガイダンスでプロッサー総裁が反対票」
- ・「量的緩和終了後も相当な期間、低金利は続く」
- ・「住宅は依然緩慢、個人消費はやや上向き」

《ポイント》

米 FOMC は、債券購入額を月 350 億ドルから 250 億ドルにし、6 会合連続で縮小を決定した。FOMC の声明では、物価動向について「長期的な目標とする水準にやや近づいている」としたことや、雇用情勢については「失業率が一段と低下して改善した」と判断を上方修正したことが好感されたが、労働市場のスラックは残っていると指摘したことや、「相当期間ゼロ金利を続けること適当」との方針を据え置いたことが嫌気された。



4 : 15

NY 金は、中心限月が前日比 3.60 ドル安の 1 オンス=1296.90 ドルで取引を終了した。

4 : 25

NY 原油は、中心限月が前日比 0.70 ドル安の 1 バレル=100.27 ドルで取引を終了した。

主要商品	終 値	前日比
NY GOLD	1296.90	-3.60
NY 原油	100.27	-0.70

(出所: SBILM)

◀ NY 金市場 ▶

NY 金は、4-6 月期の米 GDP が市場予想を上回ったことを受けて、米国の早期利上げ観測が強まったことを嫌気して売りが優勢となった。時間外取引においては、FOMC が量的緩和の縮小継続を決めたが、大方の予想通りだったこともあり値動きは限定的だった。



(出所:ブルームバーグ)

◀ NY 原油市場 ▶

NY 原油は、米石油在庫統計で、ガソリン在庫が 4 週連続で増加したことが材料視され、売りが優勢となった。また、ウクライナ情勢をめぐる EU と米国の対ロシア制裁強化が、ロシア産原油の供給に影響を与える可能性は低いとの見方も圧迫材料となった。



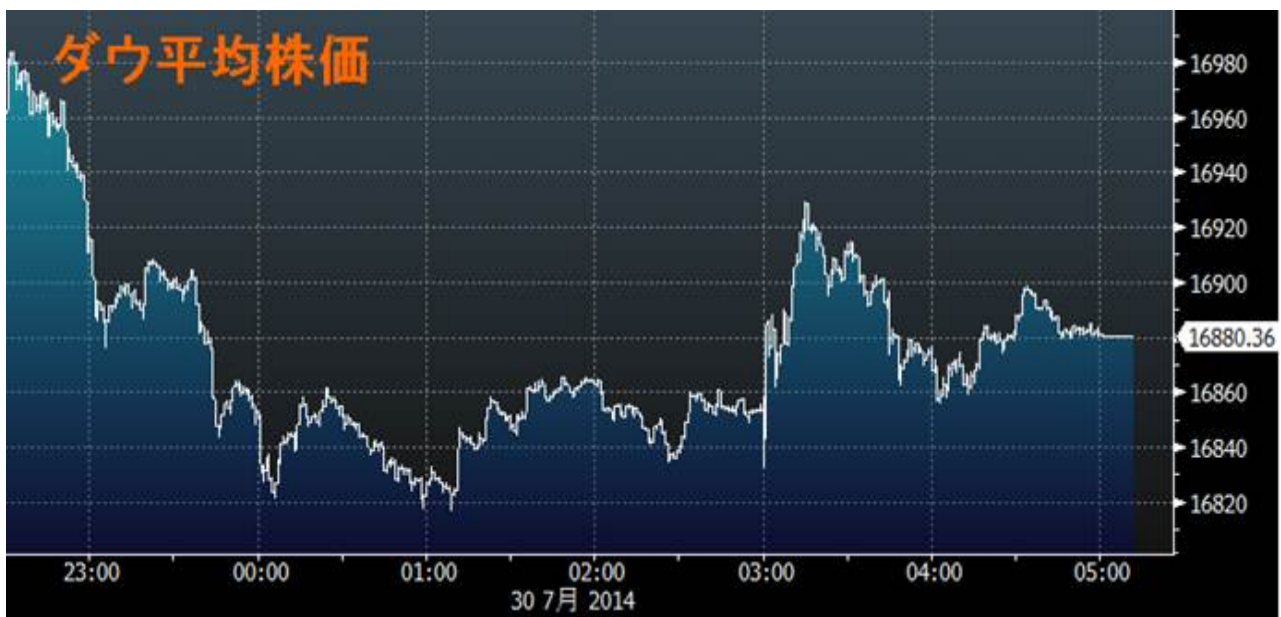
(出所:ブルームバーグ)

主要株価	終値	前日比	高値	安値
ダウ平均株価	16880.36	-31.75	16983.94	16817.16
S&P500 種	1970.07	+0.12	1978.90	1962.42
ナスダック	4462.90	+20.20	4476.06	4444.51

(出所: SBILM)

《米株式市場》

米株式市場は、4-6 月期の米 GDP 速報値が市場予想を上回ったことから、米経済への楽観的な見方が広がり、主要株価は序盤から堅調な動きとなった。しかし、その後は FOMC の結果発表を控えて利益確定の動きが出たことや、ロシアがウクライナとの国境地帯で軍隊を増強しているとの報道を受けて、軟調な動きも見られた。ダウ平均株価は、序盤から堅調な動きとなり、一時前日比で 71 ドル高まで上昇したものの、その後は 91 ドル安まで下げる動きも見られた。ただ、終盤には下げ幅を縮小する動きとなった。なお、ナスダックと S&P500 はプラス圏で取引を終了した。



(出所: ブルームバーグ)

主要通貨	NY 終値	NY 高値	NY 安値
USD/JPY	102.83	103.09	102.22
EUR/JPY	137.73	137.85	136.99
GBP/JPY	173.96	174.23	173.03
AUD/JPY	95.93	96.12	95.72
NZD/JPY	87.29	87.48	86.94
EUR/USD	1.3395	1.3407	1.3367
AUD/USD	0.9329	0.9372	0.9305

(出所: SBILM)

《外国為替市場》

外国為替市場は、序盤に発表された米 GDP が予想を大きく上回る結果となったことを好感してドル買い・円売りが優勢となり、クロス円も堅調な動きとなった。そして、終盤に発表された米 FOMC では、予想通り緩和策が縮小されたことを受けて、一時ドル円・クロス円は上昇する動きとなった。ドル/円は、4 月 8 日以来の高値を付ける動きとなったものの、声明が予想よりややハト派的だったことから、その後は上値の重い展開が続いた。



(出所:ブルームバーグ)

提供: SBI リクイディティ・マーケット株式会社お客様は、本レポートに表示されている情報をお客様自身のためにのみご利用するものとし、第三者への提供、再配信を行うこと、独自に加工すること、複製もしくは加工したものを第三者に譲渡または使用させることは出来ません。情報の内容については万全を期しておりますが、その内容を保証するものではありません。また、これらの情報によって生じたいかなる損害についても、当社および本情報提供者は一切の責任を負いません。本レポートに表示されている事項は、投資一般に関する情報の提供を目的としたものであり、勧誘を目的としたものではありません。投資にあたっての最終判断はお客様ご自身でお願いします。